

Title	<附録> 濱田正美博士著作目録
Author(s)	
Citation	東洋史研究 (2010), 68(4): i-viii
Issue Date	2010-03
URL	https://doi.org/10.14989/178104
Right	
Type	Journal Article
Textversion	publisher

濱田正美博士著作目録

著 書

- 『東トルキスタン・チャガタイ語聖者傳の研究』
ユーラシア古語文獻研究叢書 4 京都大學大学院文學研究科 2006年
『中央アジアのイスラーム』世界史リブレット70 山川出版社 2008年

論 說

- ムッラー・ビラルの『聖戰記』について 『東洋學報』55-4 1973年
Islamic Saints and their Mausoleums, *Acta Asiatica*, 34, 1978
L'*Histoire de Hotan* de Muḥammad A'lam (I), Texte turc oriental
édité, avec une introduction, *Zinbun* 15, 1979
L'*Histoire de Hotan* de Muḥammad A'lam (II), Un essai de traduction
du texte turc oriental, *Zinbun* 16, 1980
L'*Histoire de Hotan* de Muḥammad A'lam (III), Commentaires avec
deux appendices, *Zinbun* 18, 1982
十九世紀ウイグル語歴史文獻序説 『東方學報・京都』55 1983年
肅州城東關歸華寺：マーロフ本ウイグル譯金光明最勝王經注釋一則
小野和子編『明清時代の政治と社會』 1983年
トルコ 島田虔次他編『アジア歴史研究入門4 内陸アジア・西アジア』
同朋舎 1984年
Un aperçu des manuscrits čağatay en provenance du Turkestan
oriental, in éd. Haneda Akira, *Documents et archives provenant de
l'Asie centrale, Actes du colloque franco-japonais, Kyoto, 4-8 octobre
1988*, 1990
La transmission du mouvement nationaliste au Turkestan oriental
(Xinjiang), *Central Asian Survey*, 9-1, 1990
De l'autorité religieuse au pouvoir politique : la révolte de Kûca et
Khwâja Râshidîn, in éd. Marc Gaborieau *et al.*, *Naqshbandis : che-
minement et situation actuelle d'un ordre mystique musulman*, Istanbul

- Paris, Edition Isis, 1990
- Une note sur le colophon du *Suvarṇaprabhāsa* en version ouigoure,
Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko, 48, 1990
- サトク・ボグラ・ハンの墓廟をめぐって 『西南アジア研究』 34 1991年
- Rupture ou continuité : le calendrier des Douze Animaux chez les
 musulmans turcophones du Turkestan oriental, in éd. Jean-Louis
 Bacqué-Grammont *et al.*, *Mélanges offerts à Louis Bazin*, L'Harmat-
 tan, 1992
- 「鹽の義務」と「聖戰」との間で 『東洋史研究』 52-2 1993年
- スーフィー教團——宗教權威から政治權力へ
 後藤明編 『講座イスラーム世界 2 : 文明としてのイスラーム』
 東京・榮光教育文化研究所 1994年
- 東トルキスタンにおけるイスラーム 『海外事情』 42-3 1994年
- イスタンブルとカシュガル 『あうろーら』 4 東洋と西洋の間 1996年
- トゥルスン・ベイ著 『征服王傳』 試譯：序文と序章
 『文化學年報』 神戸大學 16 1997年
- モグール・ウルスから新疆へ——東トルキスタンと明清王朝
 岸本美緒編 『岩波講座世界歴史 13 東アジア傳統社會の形成』
 岩波書店 1998年
- テュルクとモンゴルは「民族」の名であったか
 小長谷有紀ほか編 『草原の遊牧文明・大モンゴル展に寄せて』
 千里文化財團 1998年
- 聖者の墓を見つける話 『國立民族學博物館研究報告別冊』 20 1999年
- 中央アジアと清王朝・中央アジアと中華民國および人民共和國
 間野英二責任編集 『アジアの歴史と文化 8 中央アジア史』 同朋舎 1999年
- Le soufisme et 'ses opposants' au Turkestan oriental, in ed.
 Frederick de Jong et Bernd Radke, *Islamic Mystic Contested*,
 Leiden, Brill, 1999
- 第三章 中央ユーラシアの「イスラーム化」と「テュルク化」・

第六章二節 東トルキスタン・第七章二節 東トルキスタン・

第八章二節三 新疆ウイグル

小松久男編『新版世界各國史4 中央ユーラシア』山川出版社 2000年
『歸眞總義』初探 『五十周年記念論集』（神戸大學文學部） 2000年
ホージャ・ムハンマド・シャリーフ猓下御一代記

『近世以降の中國における宗教世界の多元性とその相互受容』

（科學研究費研究（基盤研究B）成果報告書） 2001年

Jihād, hijra et 'devoir du sel' dans l'histoire du Turkestan oriental,
Turcica, 33, 2001

L'inscription de Xiate (Shata), in éd. Louis Bazin et Peter Zieme,
De Dunhuang à Istanbul : Hommage à James Russell Hamilton, Tur-
nhout, Brepols, 2001

聖者の見る夢・見せる夢 池田紘一・眞方忠道編『ファンタジーの世界』

九州大學出版會 2002年

中央アジアと東アジアの境界 中央アジアから見た中華世界

中見立夫編『アジア理解講座I 境界を超えて 東アジアの周縁から』

山川出版社 2002年

Introduction : Les mausolées du bassin du Tarim, deux millénaires
d'histoire, *Journal of the History of Sufism*, 3, 2002

Le mausolée et le culte de Satuq Bughra Khan, *Journal of the His-
tory of Sufism*, 3, 2002

Frontares entre Oreinte y Occidente, *Cuadernos de la Fundación M.
Botín* 5, ed. Fr. Jarauta, *Oriente-Occidente, Cartografías de una dis-
tancia*, 2002

イスラーム學 『論集「古典學の再構築」』（平成10-14年度文部省
科學研究費補助金特定研究領域研究A118）

「古典學の再構築」研究成果報告集I 2003年

Le pouvoir des lieux saints dans le Turkestan oriental, *Annales
HSS*, 59/5-6, 2004

- 天山の岩と泉と聖者の墓と 松原正毅ほか編 『ユーラシア草原からの
メッセージ 遊牧研究の最前線』 平凡社 2005年
- 湖南・樸學・「内」と「外」 『史林』 89-1 2006年
- テュルク人とイスラーム——王權の觀念をめぐって
紀平英作編 『グローバル化時代の人文學 對話と寛容の知を求
めて 上 連鎖する地域と文化』 京都大學出版會 2007年
- 『歸真總義』——中央アジアにおけるその源流 京都大學人文科學
研究所編 『中國宗教文獻研究』 臨川書店 2007年
- 北京第一歷史檔案館所藏コーカンド關係文書 9 種
『西南アジア研究』 68 2008年

書 評

- 前嶋信次・加藤九祚共編 『シルクロード事典』 『史林』 59-4 1976年
- 山内昌之 『オスマン帝國とエジプト——
一八六六—一六七クレタ出兵の政治史的研究』 『東洋史研究』 43-4 1985年
- Elisabeth Allès, *Musulmans de Chine, Une anthropologie des Hui de
Henan*, Paris, Editions de l'EHESS, 2000, *Annales HSS*, 57/3,
2002
- 間野英二 『バーブル・ナーマの研究 IV 研究編 バーブルとその時代』
『東洋史研究』 61-4 2003年
- Hodong Kim, *Holy War in China, The Muslim Rebellion and State in
Chinese Central Asia, 1864-1877*, Stanford University Press, 2004,
International Journal of Asian Studies, Vol.2, No.2, 2005
- Alexandre Papas, *Soufisme et politique entre Chine, Tibet et Turkestan :
Etude sur les khwaja naqshbandis du Turkestan oriental*, Jean
Maisonneuve, 2005, *Central Eurasian Reader*, 1, 2008
- I. Bellér-Hann et al. ed., *Situating the Uyghurs between China and Cen-
tral Asia*, Ashgate, 2007, *International Journal of Asian Studies*, 6-2,
2009

學界展望

中央アジア——1976年の歴史學界 回顧と展望——

『史學雜誌』 86-5 1977年

Bibliographie de travaux turcologiques japonais, *Turcica*, IX/2-X,
1978

ナクシュバンディー研究集會 『西南アジア研究』 25 1986年

Research Trends in Xinjiang Studies, in ed., St. A. Dudoignon &
H. Komatsu, *Research Trends in Modern Central Eurasian Studies*
(18th-20th Centuries), Part 1, The Toyo Bunko, 2003

コメント2：歴史學における「境界」 『史林』 90-1 2007年

翻 譯

ルイ・バザン 六一八世紀のテュルク人と佛教 『東方學』 78 1989年

アンドレ・クロー 『スレイマン大帝とその時代』 法政大學出版局 1992年

事典執筆項目

『岩波イスラーム辭典』 岩波書店 2002年

アーシュク・パシャザーデ, イスマーイール・サーマーニー, 『回
回館譯語』, 回教, 回儒, カーシュガリー, カシュガル・ホージャ
家, カラハン朝, キャーティブ・チェレビー, 黒山黨, 『五體清文
鑑』, サトウク・ボグラ・ハーン, ジャハンギール, 『諸蕃志』, 聖
者傳 [アラブ・ペルシア], チャガタイ語, デルヴィーシュ, 馬元
章, ハーン (1), 東トルキスタン, ホージャ, ホージャ・アーフ
ァーク, ホージャ・イスハーク・ワリー, ホージャ・ムハンマド・
シャリーフ, 蒲壽庚, 墓石, マザール, マシュラブ, マナーキブ,
マフドゥーミ・アーザム, ムッラー・ムーサー, モグール・ウルス,
門宦

『中央ユーラシアを知る事典』

平凡社 2005年

イスラーム化【清朝とロシア支配下のイスラーム】[清朝治下の東トルキスタン], ウイグル人, 華夷譯語, カーシュガリー, カシュガル・ホージャ, カラハン朝, サトゥク・ボグラ・ハーン, 西北ムスリム大反亂, タズキラ [聖者傳], テュルク化【パミール以東のオアシス地域のテュルク化】【テュルク・イスラーム文化の成立】【パミール以西のオアシス地域のテュルク化】, ホージャ, ホージャ・アーファーク, マシュラブ, マフドゥーミ・アーザム, ムッラー・ムーサー

『新イスラム事典』

平凡社 2002年

アホン, ベグ